

経営発達支援事業評価委員会の開催議事録

当所では、一昨年4月に、国から認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき、第1回経営発達支援事業評価委員会を開催した。

記

I. 日時 平成30年2月13日（火）17:00～19:00

II. 場所 玉野商工会議所 役員室

III. 出席者 委員長 小林裕彦氏（弁護士）、委員 松本直也氏（中小企業診断士）
事務局 実井準（中小企業相談所長）、近藤克也（金融課長）

IV. 議題

1. 平成29年度経営発達支援進事業実施状況について

(1) 経営計画策定のためのセミナー・講習会開催

- ・販路拡大 経営革新セミナー 7月6日 12名
- ・創業塾 8月2日、9日、16日、23日 10名
- ・弁護士契約時活用セミナー 10月17日 12名
- ・弁護士活用セミナー 11月7日 16名
- ・人事評価制度のセミナー 1月23日 11名
- ・元CAから学ぶ！経営者のためのメンタルヘルスに生かす「アンガーマネジメント」について 平成30年2月8日 15名

(2) 専門家派遣 経営計画及び経営革新計画作成支援

- ・1事業所1回につき2時間で3回を基本として実施 ◎のべ16社26回
月 日 平成29年4月17日（月）、25日（木）、28日（金）、5月15日（月）、
27日（土）、6月9日（金）、28日（水）、7月6日（木）、20日（木）
26日（水）、8月18日（金）、21日（月）、23日（水）、9月4日
（月）、10月10日（火）、11日（水）、12日（木）、19日（水）、
11月13日（月）、22日（水）、30日（木）、12月27日（水）、
平成30年1月18日（水）、29日（月）、2月14日（水）、3月22日（木）

(3) 関連団体との合同研修会開催

玉野商工会議所と玉野市、玉野産業振興公社、岡山南商工会東児支所との合同研修会

月 日 4月11日（火）、8月22日（火）、平成30年2月28日（水）

(4) 経営革新計画作成等支援

- ・経営革新計画認定企業 玉野管内 3社（申請 3社）

(5) 小規模事業者持続化補助金支援（平成28年度第2次補正予算追加公募分）

- ・補助金採択事業者 玉野管内 4社（申請 11社）

- (6) 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金、経営力向上計画、事業承継補助金支援
- ・革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金 玉野管内1社（申請2社）
 - ・経営力向上計画採択事業者 玉野管内 2社（申請 2社）
 - ・事業承継補助金 玉野管内 1社（申請 1社）

(参考) ビジネスサポート補助金事業（玉野版小規模事業者持続化補助金）

当所会員事業者の販路拡大やサービスの向上につながる他社にはない新たに始める事業を応援する補助金を商工会議所独自予算にて新たに開設した。申請書は、広域サポーターや経営指導員の伴走型支援により作成。

- ・採択事業者 3社

(7) “小規模事業者経営発達支援資金”の問い合わせはあったが、実行までは至っていない。

V. 【委員からの意見】

1-1. 地域の経済動向調査に関すること【計画進捗評価 3】【事業成果 3】

1-2. 経営状況の分析に関すること【計画進捗評価 3.5】【事業成果 2】

・巡回・窓口訪問の件数はできているが、その後の経営分析が不十分。訪問するだけでは意味がない。その後の指導・支援に役立つ資料を作成すること。

1-3. 事業計画の策定支援に関すること【計画進捗評価 3.5】【事業成果 3】

○セミナー（講習会）

・セミナー等は各種実施されている点は評価できるが、各セミナーの参加者が少ないのではないか。PRに努め参加者を増やす取り組みを考えるべき。

・創業塾は玉野市の創業奨励金の対象となっており、事業者が利用している点は評価できる。内容では、創業資金をはじめとする各種融資制度の利用について日本政策金融公庫へ講師を依頼する方法もある。

・過去の創業塾生にも案内してやる気のある事業者の事例発表等交流会開催を提案したい。経営発達支援計画事業も来年は3年目に入るため十分実施できるはず。

国が事業承継に力を入れているのでそちらと併せて開催してもよい。受講者のネットワーク作りまですすめば効果もさらに期待できる。

○専門家派遣

・回数も増えており支援計画に近い数字で支援できているのは良い。ものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金、経営革新計画等の実績数値が伸びていない。

1-4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【計画進捗評価 3】【事業成果 3】

・セミナー等は各種実施されているが、1-2と同様に経営計画策定後のフォローができていない。

・マル経融資の件数が増えていることは評価できる。融資前後の事業所の財務データ

を作成して改善状況を記録していけば今後の指導に活かせる。

1－5．地域経済の活性化に資する取り組み【計画進捗評価 3.5】【事業成果 3.5】

1－6．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み
【計画進捗評価 3.5】【事業成果 3】

(評価点について)

5：十分達成 4：概ね達成 3：普通

2：未達成 1：全くできてない

VI 今後について

以上のことを踏まえ、役員、議員にも伝え報告及び評価・見直し方針の決定を行い30年度事業の計画策定を行う。